

文部科学省EDU-Portニッポン調査研究 「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と 質保証に関する研究」報告会



概要

本研究では、エジプトの小学校で導入・実施されている特別活動（Tokkatsu）の現地化の実態を調査し、個人と社会のウェルビーイングを支える要素ともいわれる非認知能力に与える影響を定性的に検討しました。さらに、エジプトの関係者と共同で、質保証制度を開発することを通じて、国際的通用性と倫理性を備えた日本型教育モデルの発展を目指してきました。

本報告会では、2年間の活動内容および成果について報告します。詳細は裏面をご覧ください。

主催 「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と
質保証に関する研究」チーム

共催 日本特別活動学会

日程 令和7年2月1日（土） 13:00～16:30

会場 対面：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟310
（東京都渋谷区代々木神園町3-1）
オンライン：Web会議システムZoom

申込 令和7年1月24日（金）までに、以下のURL
または右のQRコードからお申し込みください。
参加費は無料で、どなたでも参加できます。
<https://x.gd/gbWiX>



【報告内容と登壇者】

趣旨説明「エジプトにおけるTokkatsuの現状と本調査研究の枠組み」
京免徹雄（筑波大学）

ミニ講演「エジプトのTokkatsuは日本の学校教育に何を投げかけているか？」
安部恭子（帝京大学）

報告1「エジプトにおけるTokkatsuの受容とその影響—インタビュー調査から—」
田中光晴（文部科学省） 添田晴雄（大阪公立大学） 相庭貴行（筑波大学大学院）

報告2「エジプト日本学校におけるTokkatsuの特徴と非認知能力との関係—学級会と参加型評価の分析から—」
山田真紀（椛山女学園大学） 平田幸男（至学館大学）
土屋 愛（熊谷市立久下小学校）

報告3「Tokkatsuの持続性強化に向けた質保証制度の共同開発」
瀬戸口暢浩（株式会社パデコ）* Safaa Nour（カイロ大学）*

報告4「日本型教育の発展に向けた日本人学校と現地校との協力体制のモデル化」
天野幸輔（名古屋学院大学） 鈴木純一郎（多摩市立貝取小学校）
原 圭吾（御嵩町立御嵩小学校）

報告5「エジプトのTokkatsuから学んだことを生かした日本の学級会の授業改善」
小泉琢磨（深谷市立藤沢小学校） 林 尚示（東京学芸大学）

報告6「2024年度のエジプト現地調査報告」
平野 修（尚絅大学） 清水克博（名古屋学芸大学）

エジプトからのメッセージ「本研究から何を受け取り、日本に何を伝えたいか」
Mohamed Abdelmeguid（JICAプロジェクト）* Safaa Nour（カイロ大学）*
* オンライン報告

付記：本研究の正式名称は、「非認知能力の育成に向けた特別活動の国際化と質保証に関する研究～日本型教育先進地エジプトにおける Tokkatsuの効果検証～」です。文部科学省EDU-Portニッポン「令和5年度 予測困難な時代の学びを保障する学習手法の共有と海外展開に関する調査研究」として、筑波大学を代表機関とするチームが受託したプロジェクトになります。

問合せ先

「特別活動の国際化と質保証に関する研究」事務局

okada.shizuka.ga@un.tsukuba.ac.jp